

タイヤ空気圧監視システム

型番 (C240、C270、C280)

2022年8月更新 K&Mサービス株式会社

ファームウェアが継続的に更新するため、説明書と一致しない場合があります、ご了承ください。

一、製品概要

TPMS (タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム Tire Pressure Monitoring System) またはタイヤ圧監視システムは、自動車のタイヤ空気圧を常時モニタリングするシステムで、問題があれば警告で運転者に知らせる。空気圧を適切にしておくことは、安全のためだけでなく、燃費向上にも有効なことから注目されています。TPMSは米国だけでなく、2012年では欧州で義務化が決定され、2013年には韓国でも義務化され、こうした国への日本車もTPMSを標準装備している。ただし、日本では義務化が遅れている。



機能と特徴

1. タイヤ空気圧とタイヤ温度のリアルタイム監視システム
2. ソーラーパネル充電、節電のためのインテリジェントスリープモード
3. タイヤ空気漏れの監視
4. 異常な測定値に対する視覚的および可聴的警告
5. 一目でわかる4つのタイヤの圧力と温度のデータ
6. 選択できる圧力単位と温度単位

内蔵用タイヤ空気圧センサー

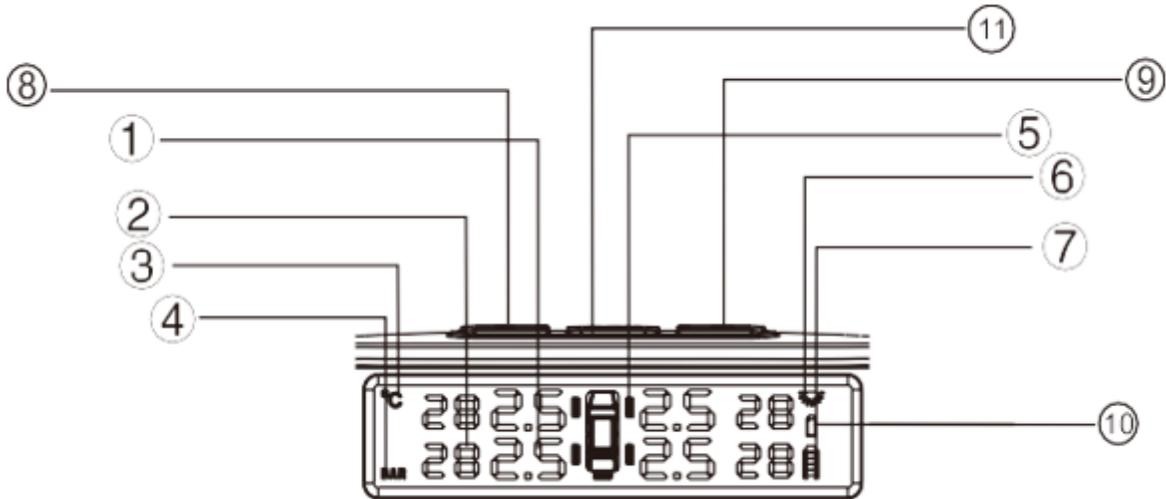
ワイヤレス 気圧・温度 警報機能 IPX7防水

セット内容 (モニターセットの場合)

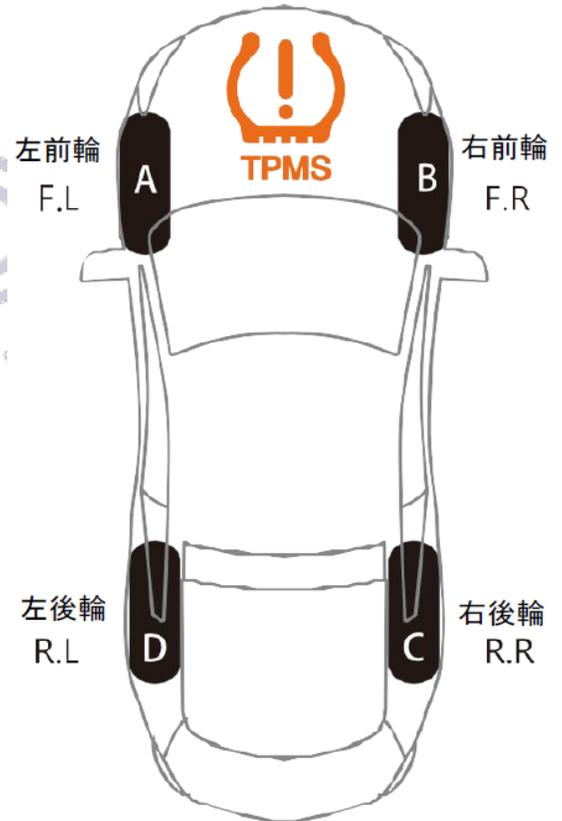
- ・本体×1
- ・センサー×4
- ・USBケーブル×1
- ・取付レンチ・ナットセット×1



二、各部名称



1. 圧力
2. 温度
3. 温度単位
4. 圧力単位
5. タイヤ位置
6. ソーラー充電パネル
7. 電池残量
8. 「◀」 / 「+」 ボタン
9. 「▶」 / 「-」 ボタン
10. 電池低残量 (センサー)
11. 「M」 / SET ボタン



工場出荷時の設定	設定範囲
PU: 3.0 Bar	0.6 ~ 6.0 Bar
Pd: 2.0 Bar	0.5 ~ 5.9 Bar
tP: 68°C	50 ~ 99°C

工場出荷時の設定

1. 工場出荷時の設定：（ヒント：タイヤの上限圧力をPU、下限をPd、温度をTpと表します。）
2. 工場出荷時の設定にリセットするには、「◀」 / 「+」と「▶」 / 「-」を同時に3秒間長押しします。
3. 1Bar = 14.5Psi

三、 モニターの ON・OFF、確認方法

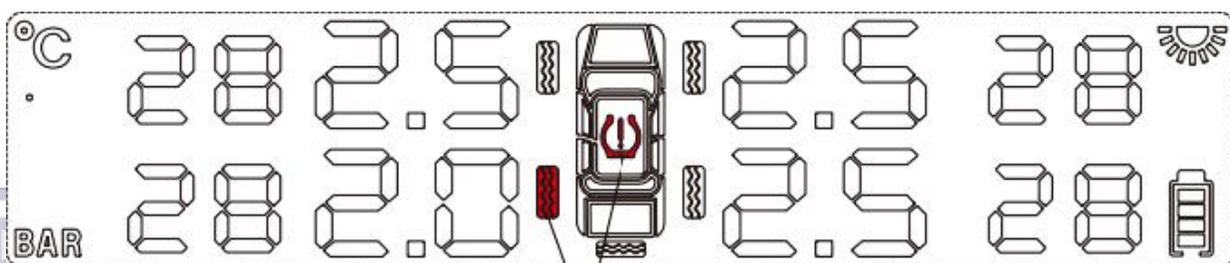
はじめに、この製品の電池が切れている場合は、MicroUSB充電ケーブル3~4時間充電してください。

1. モニターは待機→動作状態になった時に伝送信号が自動的にオンになります。
タイヤ空気圧と温度のデータが表示して、3分以上操作がなければ、自動的にオフになります。
2. 「▶」/「-」 ボタンを3秒間長押しすると、ディスプレイのオンとオフが切り替わります。
3. アラーム説明

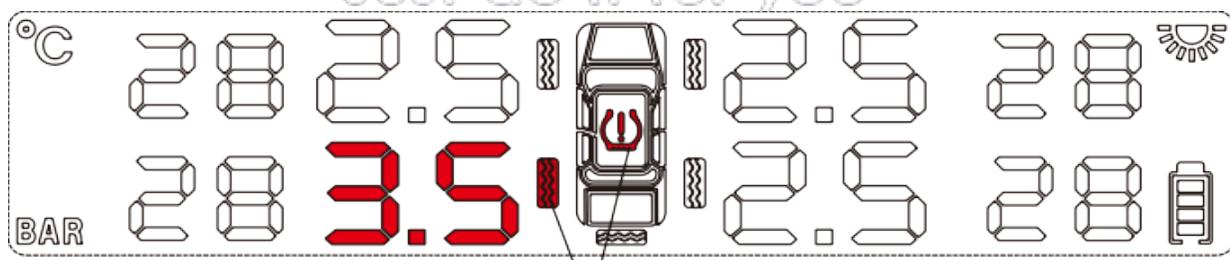
タイヤ空気圧または温度が設定された安全範囲を超える（下回る）と、アラームがBi、Bi、Biを鳴らします。モニターにタイヤ位置**、圧力（または温度）データ、およびアラームアイコン（!）が一緒に点滅します。（ヒント：アラームをキャンセルするには任意のキーを押しますが、それでも警告アイコンは点滅します）。

動作状態の例 RL（左後輪）タイヤ

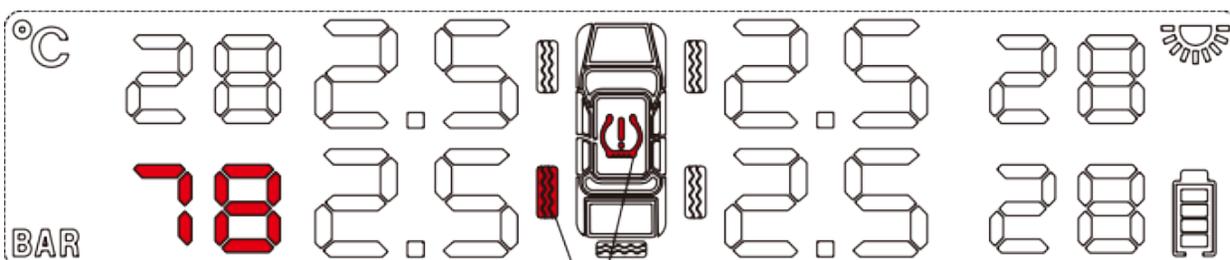
空気漏れ・低圧： 設定値より低く、RLタイヤ漏れまたは低圧をアラームします。



設定範囲：1.7~3.4バール RLタイヤ3.5バール高圧が検出されます。



工場出荷時設定：70°C RLタイヤ高温78度をアラームします。



四、 設定方法

1. 設定モードの開始と終了

「M」/SETボタンを3秒間長押しして、「Bi～」が聞こえたら放します。設定モードに入ります。

「M」/SETボタンより以下の項目を選択することができます。

BarまたはPsi、°CまたはF、PU、PdおよびtP。

「◀」/「+」または「▶」/「-」ボタンより、対象項目単位の調整または値の調整することができます。

設定の調整が終わったら、「M」/SETボタンを3秒間長押し、「BiBi」の音で保存して設定モードが終了します。

(注意: 設定モードに入った後、2分間内何も操作がない場合、システムは自動的にメインディスプレイに戻ります。)

2. 圧力単位設定

設定モードに入ったら、「M」/SETボタンより圧力項目を選択、パールアイコンが点滅します。

「◀」/「+」または「▶」/「-」を押して、単位はPSIとBar選べます。工場出荷時の単位は : Bar。

3. 温度単位設定

設定モードに入ったら、「M」/SETボタンより温度項目を選択、°Cアイコンが点滅します。

「◀」/「+」または「▶」/「-」を押して、°CまたはF選べます。工場出荷時の単位は : °C。

4. タイヤ空気圧PU設定

圧力上限値PUを選択、PUと数値が点滅します。

「◀」/「+」と「▶」/「-」ボタンを押して圧力上限値を調整し、

「M」/SETボタンを3秒間長押し、保存して終了します。Biが鳴らしたら設定完了。

工場出荷時の設定 : 3.0パール

5. タイヤ空気圧Pd設定

圧力下限値Pdを選択、Pdと数値が点滅します。

「◀」/「+」と「▶」/「-」ボタンを押して圧力下限値を調整し、

「M」/SETボタンを3秒間長押し、保存して終了します。Biが鳴らしたら設定完了。

工場出荷時の設定 : 2.0パール

6. タイヤ温度tP設定

タイヤ温度tP設定でタイヤ温度が点滅し、「◀」と「▶」ボタンを押してタイヤ温度値を調整し、

「M」/SETボタンを3秒間押し保存して終了します。Biが鳴らしたら設定完了。

工場出荷時の温度は : 68°C

五、 センサーの取り付け方法

外付けタイプ



1. エアバルブキャップを外します。
2. 六角ナットをねじ込みます。
3. ペアリングを設定しながら、センサーを締め付けます。
4. 六角ナットをナットレンチでセンサーに逆にねじ込みます。
5. 空気の漏れをチェックするために、バルブに泡をスプレーして確認します。

内蔵タイプ

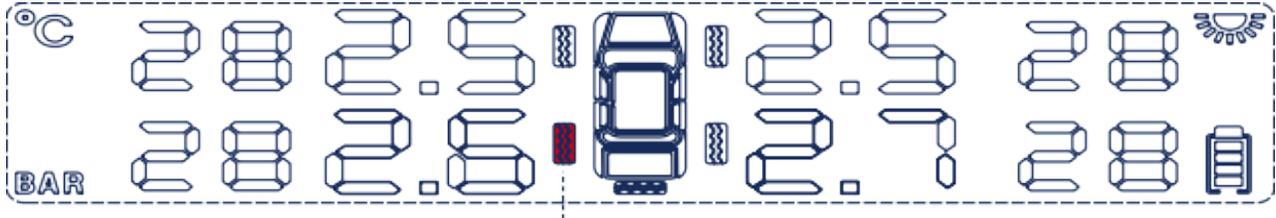


1. エアバルブを取り外します。
2. 内蔵センサーを取り付けます。
3. ペアリングを設定して、空気を入れます。
4. バルブキャップを締め付けます。
5. バランス調整します。
6. 空気漏れ等最終チェックします。

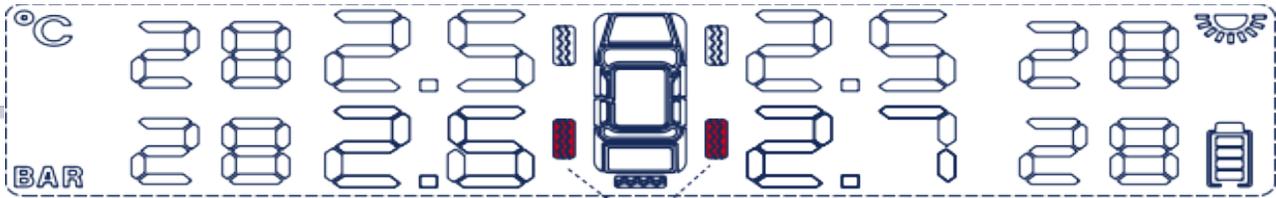
六、 タイヤ交換時と再ペアリング方法

前後・左右のタイヤを交換するとき、ディスプレイの表示位置を一致するように、変更操作する必要があります。外付けタイプは、センサーを交換すれば解決できますが、内蔵タイプには変更操作する必要があります。左後輪と右後輪を交換する場合を説明いたします。

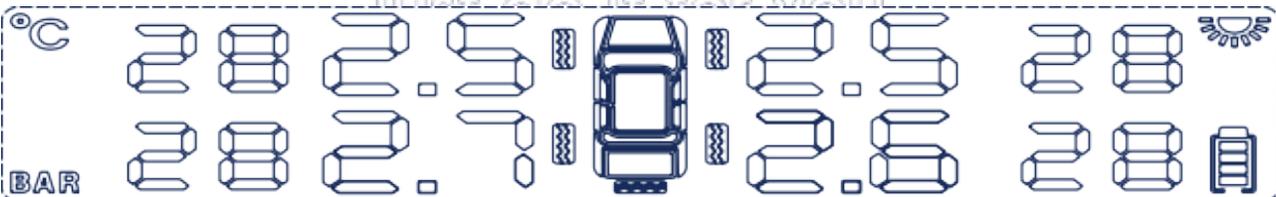
1. 「M」/SETボタンをすばやく連続で8回押すと、タイヤ交換の画面に入り、左前のタイヤ記号が点滅します。「▶」/「-」ボタンを押し続けると、交換したいタイヤを選択できます。下記図のように、後部左後部のタイヤ記号が点滅となります。



2. 「M」/SETを押し、次に「▶」/「-」を押して交換する2番目のタイヤ（右後輪）を選択します。右後輪を点滅させると、左後輪と右後輪アイコンが同時に点滅します。



3. 下の図のように、「M」/SETを長押しして交換を確認します。設定を保存した上で、タイヤ交換画面を終了し、通常が表示状態に戻ります。



新しいセンサーのペアリング方法

不具合または新しいセンサーを付ける場合、再度ペアリングが必要です。

1. 「◀」/「+」ボタンを8回連続して押すと、ペアリングモードに入り、左前輪の「—」が点滅します。
2. 「◀」/「+」または「▶」/「-」を押して、ペアリングするタイヤを選択します。
3. センサーを対象タイヤに装着して、しっかり固定します。
4. モニターに圧力が表示されたら、M /SETボタンを3秒間長押しして完了です。
5. 1つ目成功したら、必ず1つ目を外してから次のセンサーをペアリングしてください。

注意点：ペアリング上手くできない場合、1つずつペアリング成功して、真ん中のボタンを長押しで保存してから次のタイヤをペアリングしてみてください。

ペアリング方法は下記の動画をご参照ください。

<https://youtu.be/BU6ixAc9KNk>

外部センサーの電池交換

ボタン電池CR1632Hが使われています。
表示数値が合わない、誤差があった場合、電池を交換してみてください。



七、 注意事項

・この製品はタイヤの圧力と温度をリアルタイムに監視し、ドライバーに異常を警告することはできませんが、事故を防ぐことはできません。

・こちらの製品による直接または間接的な損失に対して、一切の責任を負いかねます

・加工、取扱ミスの場合は、いかなる理由でも返品・交換はできかねます。

・免責について

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合
- ④ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

Just do it for you